

Letters

レターズ / 加入者や保護者の皆さんから寄せられたお便りをご紹介します。

三重県

H・Sさん（祖母）

孫は2歳になる一ヶ月前に母親を事故で亡くしました。その後、父親も家を出て行ってしまいました。

孫を抱くたびに泣いてばかりいましたが、その孫も19歳になりました。私自身も2人の子供を持つ母子家庭でした。この先、生きていけるのかと不安に思っていました。孫が「親のいない子」といじめられたこと、周りの若い母親たちについていけず悩んだこともありました。振り返ると、前に進めなくなり、つまらない声に押しつぶされそうになりました。誰も助けてくれないのだから壁を作るのではなく人にも優しくなろうと自分に言い聞かせ、「すべての人を好きにならなくても、好きになってもらえなくても、嫌いな人は作らず良いところを見つけよう」を家族の目標としてやってきました。

19歳になる孫とは話すことを大切にしてきました。毎日話をして、不安や悩みを相談し合いました。それでも、経済的に苦しくつらい思いをさせたこともあります。進路も、少しでもお金のかからないようにと気を使ってくれています。経済面で助けていただいたことは、私たちの心に余裕ができ、優しくなれたと思っています。本当にありがとうございました。

宮城県

S・Eさん（母）

16年に渡り大変お世話になりました。

全てにおいて途方に暮れていたあの頃、手を差し伸べてくれ、目に見えない関わりのように最初感じましたが、長い間心の支えとなっていたことに間違いありません。おかげ様で息子も素直に成長し優しい子に育ったと思っています。

長年に渡り、子供の大事なお金をしっかり管理し、手伝っていただけたことにとても感謝しております。ありがとうございました。

新潟県

T・Sさん（母）

今月で次男が19歳の誕生日を迎えます。長男が4歳、次男が1歳になったばかりの頃でした。振り返ると基金の存在はとても大きく、精神的にも、また特に教育資金的にも本当に助けられ、それはまさしく亡き夫に匹敵する程でした。おかげで息子たちには希望の大学に進んでもいいよと伝えることができ、それを叶えることもできたと思います。

あの頃は真っ暗な中でもがいていたこともあり、これほど大きな存在となった基金ですが、“案内はどこから来たのか？”、“私はいつ加入したのか？”など、あまり記憶が無く、気が付いたら加入していたのです。

もうすぐ基金とのお付き合いも終わりますが、このご縁に恵まれたことを感謝しています。本当にありがとうございました。

埼玉県

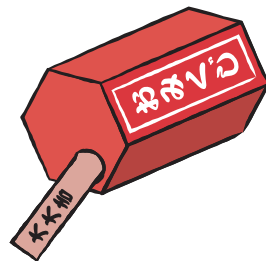
しまねこさん（加入者）

この度はお祝い金と図書カードをくださりありがとうございました。参考書の他に好きな小説を購入したいと思っています。

私は今、看護師になるという夢に向かって勉強を頑張っている毎日です。社会人になってからは私と同じような境遇の方になにか恩返しをできたらいいなと思っています。

父の事故後は、落ち込むこともありましたが、基本的には母、祖父、祖母と一緒に楽しく暮らしています。

皆さんに支えられているということを忘れず、これからも努力していきたいと思っています。ありがとうございました。



岐阜県 M・Hさん（母）

とうとう我が息子も次の4月で20歳となります。思えば2歳で父を亡くし、約18年のお付き合いとなりました。

夫を亡くしてその日暮らしで精いっぱいだった私と息子に、映画券プレゼントなどで楽しく過ごせる時間をたくさん下さって、本当にありがとうございました。感謝でいっぱいです。お別れを思うと寂しさはありますが、これからも息子の成長を楽しみに頑張っていきたいと思います。ありがとうございました。

匿名希望さん（母）

基金完了のお知らせとお祝い金をありがとうございました。

貴法人へ加入したのは、夫の事故後、半年ほど経った頃です。家族の死という大きな悲しみの中、事故相手への感情や、初めての経験になる裁判や保険関係の手続きなどは、小さい子供を育てながら行うには大変で、重圧に押しつぶされそうな日々でした。今思い出してもつらい気分になってしまいます。

現在、子供は19歳となり、人を思いやることのできる、自慢の娘に育ってくれました。

長きに渡り支えてくださり、本当にありがとうございました。これからも交通事故で悲しい思いをした方々のため、頑張ってください。

熊本県 M・Yさん（母）

この度は橋本給付金、そして完了のお祝いをいただきましてありがとうございました。

長男は社会人になり、長女は大学生になり、それぞれ頑張っています。私たちがこれまでやってこれたのも、交通遺児等育成基金をはじめ、たくさんの団体の方々に支援していただき、周りの様々な支えのお陰だと思っています。

これからも感謝の気持ちを忘れずに、親子共々頑張っていきたいと思います。

愛知県 S・Yさん（母）

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、今年小学6年生の娘が楽しみにしている京都・奈良への修学旅行が5月から11月8～9日に延期されました。

旅行当日、気持ちの良い青空のもと娘は笑顔でバスに乗っていきました。京都ではタクシーで移動し、たくさんの思い出を作れたようです。

2日目の奈良では若草山に登り、へとへとになりながらも楽しかったようです。様々な感染防止策を講じて実施された修学旅行。実施に向けて奔走して下さった方々に感謝です。

神奈川県 I・Yさん（母）

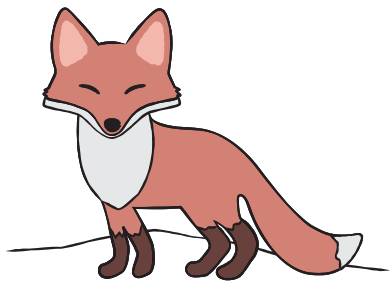
この度は貴基金から巣立つこととなり、心から感謝しております。年2回の映画券プレゼントも楽しませていただきました。

息子は、中学2年生の時に突然父を亡くして、2人の兄と日々頑張ってきました。人は支えられて生きているということを強く感じる5年間でした。本当にありがとうございました。

匿名希望さん（加入者）

小学生の時からお世話になっていることを、母から聞いておりました。本当にお世話になりました。

今年の4月から北海道の短期大学生となりましたが、コロナの影響で前期はすべてリモート授業になってしまいました。やっと後期から対面授業が入っているので、友達を作りたいです。



長野県 K・Kさん（加入者） K・Mさん（母）

♡加入者さまより

この度は交通遺児等育成基金の完了に伴い、給付金をいただきありがとうございます。また、加入当初からの長い期間において、育成基金様には本当に数多くの恩恵をいただき、おかげさまでお金の心配や生活状況など、何不自由なく過ごすことが出来ました。

これからの生活においても、この頂いた恩恵を忘れることなく、日々感謝の気持ちも忘れずに、育成基金様のような支えてくださった方々へ、今度は少しでも恩返しできるように社会で励んで参りたいと思います。ありがとうございました。

♡お母さまより

上の子供が3歳の時に交通事故で主人を亡くしました。家族3人で、働きながらお金の心配なく生活してこれたのも交通遺児等育成基金様より給付をいただき長い期間のあたたかい支援を頂いてきたことと、深く感謝いたします。

今後も自分の進路に向かって子供が頑張ってくれることを願っています。ありがとうございました。

兵庫県 H・Kさん（母）

18年間大変お世話になりました。基金のお陰でお金の心配はすることなく子供たちの好きなことをさせてやる事が出来ました。

母一人で子供たちになめられ泣かされなかなか大変な子育てでしたが、27歳、23歳、19歳になり、それぞれの道を歩んでおります。

個性の強い子供たちばかりでいまだに心配事は絶えませんが、自分たちの決めた道を貫いてほしいと思います。

コロナ、コロナで大変な世の中になっていますが、ずっとずっと続くものではないと思いますので、皆で乗り越えていきましょう。

本当に長い間ありがとうございました。

匿名希望さん（母）

育成基金完了のご連絡をありがとうございました。

私たち親子の周りには同じ境遇の方はおらず、私も息子も夫、父のいないことに孤立感を持つことがしばしばありましたが、季節ごとに届くスマイルズの皆さんのお手紙を読み、全国に同じような状況で懸命に生きている仲間がいるのだな、と励まされておりました。

基金を一足先に卒業する者として、皆さんに心からの応援を送りたいと思います。コロナ禍で大変な時代になってしまいましたが、明けない夜はないと信じ、日々頑張っていきましょう。ありがとうございました。

和歌山県 S・Yさん（母）

この度、長年お世話になりました交通遺児等育成基金から次男が卒業する年齢となりました。次男がお腹に誕生してすぐの事故により父親を亡くし、顔も知らぬまま育ち、早いもので19歳となりました。

長男が2歳、次男が0歳から基金でお世話になり、二人とも大学生となり、毎日楽しく過ごしております。

父親の子供たちへの愛と、基金と、会員の皆様との交流が心強く、あっという間の20年でした。感謝しております。

基金からの卒業は少し寂しいですが、成人する息子たちの将来を楽しみに頑張ります。給付金、図書カード、ありがとうございました。

茨城県 N・Rさん（母）

いつもお世話になっております。この度は、橋本給付金と図書カードを頂きありがとうございました。高校受験も終わり、希望する高校への進学も決まりました。

主人が亡くなり11年。色々とサポートをいただきながら、あっという間でした。スマイルズのレターズを読むたび、自分も頑張ろうと励みになっています。